



Contents

事業報告

明海大学イベント「だれもがこちよい街へ」へ

ブース出展

『韓日創作交流展』で、「韓国語カフェ」「ハングル書道」

ワークショップを開催 …………… P1

Miss Shoko Doll …………… P2

中国語交流サロンを開催しました

講座代表者懇親会の開催 …………… P3

事業予告 …………… P3-4



事業報告

明海大学イベント「だれもがこちよい街へ」へブース出展

～地域のつながりを育み、「多文化共生」へ新たな視点を～

去る11月9日(日)に明海大学キャンパスにて開催されたイベントに参加しました。このイベントは、明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部が主導する産学官民連携による地域創生の取り組みである「うらやすスタンダードプロジェクト」の一環として、その第一歩として催されたもので、障がいの有無や年齢、国籍、文化的背景にかかわらず、誰もがお互いを尊重しながら安心して生活し、地域の一員として参画できる社会の実現を目指す「学びと交流」の場をつくることを目的としたものです。

イベントの内容は、浦安市役所社会福祉課、オリエンタルランドによる講演、座談会(テーマ:「障がい者の親の視点から」、そして浦安市で活動する6団体のブース出展から構成され、UIFAでは、社会的マイノリティーでもある「外国人」にフォーカスした、日本語学習支援、やさしい日本語による「うらやす市のお知らせ」の発行、様々な国際・文化交流等の活動を紹介いたしました。

当日は悪天候にもかかわらず、200名を超える大勢の方が訪れ、私たちの展示ブースにも、UIFAの活動全体を紹介するため新たに作成したポスター、「やさいち」活動メンバーの親切・丁寧な対応の効果もあり、明海大学の留学生をはじめ32名の方々に興味関心を持って来訪してもらい、UIFAやその活動を大いにアピールできました。

このプロジェクトは、10年という長期に渡る壮大なものであり、UIFAの活動理念である「多文化共生」の今後の推進にあたり、浦安市を取り巻く環境の変化とともに、新たな視点を取り入れ、地域とのつながりを意識し、連携して取り組んでいくことの必要性を再認識しました。

(総務部会、日本語学習支援グループ、文化交流部会)



『韓日創作交流展』で、「韓国語カフェ」「ハングル書道」ワークショップを開催

10/24～28開催『第27回韓日創作交流展』の中で、「韓国語カフェ」(10/24)と「ハングル書道」(10/25)を韓日創作交流会と共催しました。

開催会場：新浦安 Wave101 サロン6

「韓国語カフェ」：韓国人側は芸術家の皆様10名に参加いただき、グループに分かれ、韓国のお茶を飲みながら韓国の文化・食べ物・観光地・ドラマと尽きることなく大いに盛り上がりました。

「ハングル書道」：各自思い思いの言葉をハングルで清書するワークショップで、初めての企画でした。ハングル毛筆の作品に満足顔で、各自の作品を大切に持ち帰られました。

(文化交流部会、言語学習部会 外国語グループ、翻訳・通訳部会)

「韓国語カフェ」韓国芸術家の方々と共に「ハングル書道」思い思いの言葉を清書し各自作品を紹介し、意味を説明しました。





コンウェイ中学校の辻村聖子氏（中央左）
親善人形交換会（1998年2月20日）



「Miss Shoko」人形がオーランド・浦安姉妹都市委員会の
ジョンソン貴子氏（左）・アンドリュー・ポイド氏（右）
よりバディ・ダイヤー市長（中央）に預けられる（2021
年6月8日）

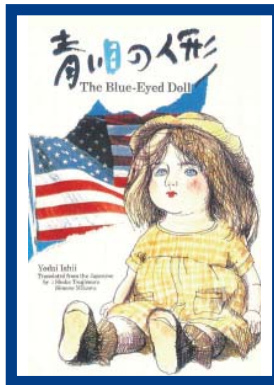
Miss Shoko

浦安市国際交流課長として姉妹都市との歴史ある
人形交換に貢献した故辻村聖子氏の功績を称え
て、フロリダ州オーランド市から浦安市に親善人
形が贈られる

平和を希求し続けた辻村さんの オーランドとの取り組みの象徴



オーランド・浦安姉妹都市委員会より
寄贈された「Miss Shoko」人形



The Blue-Eyed Doll（青い目の人形） 石井雍大 著

辻村氏との共訳による人形交換の歴史に関する本
（英語版 1995）
ブックカバーのイラスト「アナマ・ジュリー」は
1927年にオーランドから日本に送られた親善人形。
1995年に辻村氏の尽力でオーランドを再訪問。

Miss Shoko Doll

国際センターの一角には姉妹都市交流のコーナーがあります。この度、そこに新しい仲間が加わりました。それは、Miss Shoko Doll と名付けられた人形です。

この人形は、一昨年 2024 年 11 月に浦安市の姉妹都市オーランド市の Dr. Phillips 高校から高校生が浦安にやってきた時に、付き添いとして同行したオーランド浦安姉妹都市委員会の Andrew Boyd 氏が持参した人形です。

なぜその人形の名前が Miss Shoko なのか、疑問に思われた方も多いと思います。この人形は、長年にわたり浦安市とオーランド市との姉妹都市交流に力を尽くされた「辻村聖子（しょうこ）」さんを偲んで作られたものなのです。辻村さんは姉妹都市交流、その中でも親善人形の交換事業に深く関わっていらっしゃいました。その事業のきっかけになったのが、香川県の新聞社から 1992 年にかかってきた一本の電話でした。電話を受けた当初、浦安市役所職員だった辻村さんはきつとびっくりされたと思います。

というのも、1927 年という昔にアメリカから送られた約 13,000 体の親善人形の一体が香川県で見つかり、それが浦安市の姉妹都市であるオーランドから送られてきたものであるという知らせだったからです。1927 年に親善人形を日本に送ったのは、アメリカ人の Gulick 博士で、当時の日米関係悪化を懸念した彼は、日米間の平和を願い、アメリカ中の子供たちに、人形を集めて日本の子供たちに送ってほしいと頼みました。そして、約 13,000 体の「青い目の親善人形」が日本各地に送られました。その時オーランド市から香川県に送られた人形がありましたが、その一つの Anama Julie と名付けられた人形が香川県で見つかったという知らせがあったというわけです。

1992 年にその電話を受けた辻村聖子さんは、不思議な縁に感動され、浦安・オーランド市姉妹都市提携 5 周年の 1995 年に Anama Julie のオーランド市への里帰りを考え、実現されました。そして、それをきっかけに、両市で親善人形交流が始まりました。日本からはボランティアによる手作りの市松人形、オーランド市からはアメリカの文化を表すような様々な表情の人形が、それぞれの市の小中学校に相互に送られるようになりました。

その後の 20 数年間にわたり 40 体以上の人形が交換されました。浦安市内、オーランド市内の小中学校には両市からの親善人形が保管されています。例えば、1997 年には浦安市からは「浦安かな」という名の人形が Shenandoah Elementary School に、オーランド市からは「サンディ」という名の人形が日の出小学校へ送られています。（人形交流の詳細は、浦安市国際交流協会が作成した姉妹都市提携 30 周年記念誌の 9～12 頁に写真と共に記載されています。）しかし、そのように頻繁に行われていた人形交換ですが、両市のほとんどの学校へ送られたということで 2020 年が最後になりました。

さて、辻村聖子さんですが、大変残念なことに 2014 年の姉妹都市提携 25 周年を見届けられたのちお亡くなりになりました。彼女の姉妹都市交流、親善人形に対する貢献は素晴らしいものであり、その彼女の功績をたたえるため、また、反アジア運動がアメリカで再燃しつつあるという現状を懸念し、2021 年にオーランド浦安姉妹都市委員会は「Miss Shoko」人形を作成しました。

その事についてオーランド浦安姉妹都市委員会の Adrew Boyd 氏がオンラインマガジン「Asia Trend」に記事を書き、Miss Shoko Doll は広く知られるようになりました。当初は「Miss Shoko」人形が完成した直後に、姉妹都市交流事業で、オーランド市の姉妹都市交流委員が来日する時に持参する予定でしたが、ちょうど新型コロナウイルスの台頭で海外の行き来が制限され、叶いませんでした。

そしてようやく一昨年 11 月に Dr. Phillips 高校生が来日することになり、のびのびになっていた「Miss Shoko」人形がやっと浦安にやってきました。彼女は今は国際センターの姉妹都市コーナーで、姉妹都市交流の行方を見守っています。これからも辻村聖子さんは、ご自分が育まれた姉妹都市交流を守り続けていってほしいという事を「Miss Shoko」人形という姿を借りて願われているのではないかと思います。

（姉妹都市交流部会）

事業報告

中国語交流サロンを開催しました

開催日：11月9日（日） 開催場所：マーレ2階国際センター

今回の中国語交流サロンには、学生、社会人、留学生、主婦など多様な背景を持つ方々にご参加いただき、単なる語学練習に留まらない豊かな相互理解の場となりました。



1. 主な参加者

明海大学の中国語専攻の学生、UIFA 外国語講座の受講生、中国在留経験者などの日本人学習者と、留学生・在日社会人の中国人参加者による実践的で充実した交流ができました。

2. イベント内容と成果

イベントはビンゴゲーム、日中地理クイズ、フリートークの三部構成で実施しました。ビンゴでは協力を通じ親睦を深め、フリートークでは言語を超えた趣味の共通点も見つかるなど、交流がより一層深まりました。参加者からは「相手に伝わったのが嬉しかった」といった達成感が寄せられました。

3. 多文化共生に向けた取り組み

当部会は多言語ボランティアの活動を広げるため、外国人ボランティアと共に企画・運営を実施し、今後も語学学習と国際交流の機会づくりを継続してまいります。
(翻訳・通訳部会)

講座代表者懇親会の開催

開催日時：11月15日（土）12:00 - 12:30
に開催した11月次定例会後、引き続き12:45 - 14:45にて講座代表者懇親会を開催しました。23名の出席者を得て、講座代表者間の親睦を深めるとともに、お互いの講座を紹介することのみならず、個人的なトピックスのご披露もあり、極めて有意義な時間を過ごすことができました。



また、各人の座席は、抽選にて選択戴きましたが、これも面白い試みで意外性のある座席配置を実現することができました。楽しい会の模様を写真にてご紹介致します。

(言語学習部会 外国語グループ)

事業予告

お問い合わせ・お申し込みは UIFA 事務局へ

★カフェ「外国語を楽しく学ぼう！」の開催を予定

2025年3月23日に「国際センター・フェスティバル」の一環として開催されました。2026年も3月8日に計画あり、参画したいと考えています。ホームページに詳細情報を掲載いたします。ご確認ください。

★外国語講座の2026年度前期開催について

2026年度前期の受講者募集計画につきご紹介致します。

韓国語初中級講座を新設致し、英語会話講座を習熟度に応じて分かりやすく再編いたします。

- ・2026年1月17日（土）定例会終了後に、講座説明会開催
- ・2月6日（金）～3月11日（水）講座実地見学会開催
- ・2月25日（水）～3月11日（水）受講者募集（継続受講者も新規受講者も同一手続き）
- ・3月18日（水）～3月25日（水）追加募集

なお、受講料1講座14,000円、UIFA年会費1,000円（4月1日～翌年3月31日全員対象）に変更はありません。

★「多言語交流 外国人と学ぶランニング体験教室」開催

開催日時：3月29日（日）13:00～16:00

今年度の新規イベントとして 外国語Gの講座「ビジネス英語入門」の受講生有志が企画しました。ランニングで、浦安の代表的な神社、お寺、旧跡を廻ります。（3キロから5キロ程度各自の自由）、今回は「ランニング」だけでなく、日本文化の紹介も兼ねて、後半は「簡単な茶道体験」により参加者の交流を計画しました。今回は特に参加者のうち半数は外国人の参加を目指します。詳細、申し込みは3月初めにUIFAホームページに掲載いたします。
(言語学習部会 外国語グループ)

新春交流会

開催日時：1月25日（土）14：30～16：00 開催場所：浦安市文化会館3階、大会議室

新春交流会には市長、市議会議員、教育長及び市の幹部の皆様を迎え開催いたします。

午前中に運営会議、午後に理事会を開催後、当協会関係団体、UIFA 役員等が参加し、将来の UIFA に向けて、新年を祝し、懇親を図り、語り合いたいとおもいます。余興には、浦安お洒落（おしゃらく）保存会（1972年結成）の皆様による郷土芸能お洒落踊りを予定しています。

会員募集・活動説明会

開催日時：3月1日（日）14：00～16：00 開催場所：マーレ2階 国際センター

新規ボランティア会員の募集及び現在部会に所属されていない会員の部会入部を促進するために、UIFA の部会、各活動を紹介するイベントを開催します。

各部会の責任者がそれぞれ部会の活動を説明します。UIFA の活動は、皆さんのボランティア活動で支えられております。また新しい仲間との交流、絆を築くチャンスです。まずは、皆さんの友人、ご家族を誘って気軽にご参加ください。

参加申し込みについては、ホームページから登録をお願いします。

（総務部会）

オーランドデー開催

開催日時：2月22日（日）14：00～16：00

開催場所：新浦安駅前プラザマーレ 2階 国際センター

浦安市の姉妹都市、アメリカ合衆国フロリダ州オーランド市を紹介するイベントです。姉妹都市交流の歩みや2020年に浦安市民が訪問した時の様子のビデオ放映、オーランド名物～ワニ肉のから揚げ・キーライムパイ～の試食もあります。

参加申込：2月15日までに右のQRコードよりGoogleフォームでお申込みください。

（姉妹都市交流部会）



第7回 歩いて・拾って・街をきれいにSDGs!

（旧名：SDGs プロウォーキング～ウォーキング&ごみ拾い）

日時：2026年4月12日（日）9：15～11：45

開催場所：新浦安駅前バスロータリー入口駅側

申込方法：イベント開催日が近づきましたら、ホームページなど各媒体にて改めて詳細をお知らせいたします。

「拾ってもなくならないごみ…」それは、私たちの生活の中でつい「見過

ごしてしまう」ことの現れかもしれません。この活動は、ごみ拾いを通じて地域社会を美しく保つだけでなく、参加者同士の交流を深める貴重な機会です。これまでも一緒に活動をしてきているプロラグビーチーム「浦安D-Rocks」の選手も試合など忙しい中、スケジュールが合えば今回も参加予定です。

この活動で得られる3つのメリット：

1. 【多文化共生・地域交流】様々なルーツを持つ人々と交流し、相互理解を深めます。
2. 【健康増進】楽しく体を動かし、心身ともにリフレッシュできます。
3. 【SDGs への貢献】小さな一歩が、誰もが暮らしやすい街づくりにつながります。

【SDGs】は国連が主導する世界193カ国で2030年に達成する Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）です。この活動は、全部で17目標ある中の第3目標：健康と第11目標：誰もが安心して暮らせるきれいな街づくりを支援します。

世界の美化はまず足元から！皆様のご参加をお待ちしています。

外国人
大歓迎！



発行 浦安市国際交流協会

〒279-0004 浦安市猫実1-12-38 集合事務所3F

TEL：047-381-5931 FAX：047-381-8822

10：00～12：00 / 13：00～16：00（土・日・祝休み）

E-mail：uifa@uifa-urayasu.jp URL：https://www.uifa-urayasu.jp



【編集後記】

多文化共生社会を目指すUIFAの様々な取り組みの会員活動が活発に行われるようになりました。ワクワクするイベントが沢山あります。ホームページの情報も逃さぬようご確認ください。

総務部広報担当